

2016年3月7日

第11回 博報財団「国際日本研究フェローシップ」 招聘研究者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第11回「国際日本研究フェローシップ」の招聘研究者を決定しましたので、本日発表いたします。

■ 招聘研究者

厳正なる審査の結果、9ヶ国(アメリカ、イタリア、オーストラリア、カナダ、中国、フランス、ベトナム、モンゴル、ロシア)より、日本語・日本語教育研究分野6人、日本文学・日本文化研究分野7人の合計13人の研究者が選出されました。招聘研究者の詳細は、添付資料の一覧をご参照ください。

■ 招聘研究期間

2016年9月1日～2017年8月31日 *長期(1年間)または短期(6ヶ月間)どちらかの招聘期間です。

■ 受入機関

下記のいずれかの研究機関の協力を得て、研究を行います。

国立国語研究所
国際日本文化研究センター
お茶の水女子大学
京都大学
東京外国語大学
立命館大学
早稲田大学

■ 博報財団「国際日本研究フェローシップ」とは

博報財団では、海外の優れた日本研究者を日本に招聘する事業を展開しています。本フェローシップは、海外で日本語・日本語教育・日本文学・日本文化に関する研究を行っている優れた研究者を日本へ招聘し、滞在型研究の場を提供することで、世界における日本研究の基盤をより充実させ、日本への理解を深めることを目的としています。詳細は、下記のホームページをご覧ください。

※ 博報財団「国際日本研究フェローシップ」とは <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/program/>
※ 第11回招聘研究者一覧 <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/program/new.html>

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「国際日本研究フェローシップ」「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

博報財団「国際日本研究フェローシップ」事務局 (株)イーサイド内
TEL. 03-6435-8140 / FAX. 03-6435-8790
E-mail. ip-office@hakuhofoundation-ip.jp

第 11 回「国際日本研究フェロースhip」招聘研究者一覧(13 人) *敬称略

◆ 研究分野:日本語・日本語教育研究(6 人)

招聘研究者	研究題目	在住国	招聘期間	受入機関
葛 茜 (カツ アカネ) 福州大学 専任講師	中国人日本語学習者の文化的アイデンティティの形成に関する研究 - 中国人留学生と中国本国の日本語専攻生との比較を通して -	中国	【長期】 2016 年 9 月 1 日～ 2017 年 8 月 31 日	京都大学
玉栄 (ギョクエイ) 内蒙古大学 蒙古学学院 教授	コーパスを利用した日本語、モンゴル語の韻律特徴の対照研究	中国	【長期】 2016 年 9 月 1 日～ 2017 年 8 月 31 日	国立国語研究所
DAVAA Oyungerel (ダワー オユンゲレル) モンゴル国立大学 法学部 日本法教育研究センター 准教授	日本語教育における批判的思考力の育成の検討	モンゴル	【短期・後期】 2017 年 3 月 1 日～ 2017 年 8 月 31 日	東京外国語大学
張 恵芳 (チョウ ケイホウ) 浙江大学 准教授	モダリティ形式の会話における表現機能の日中対照研究	中国	【長期】 2016 年 9 月 1 日～ 2017 年 8 月 31 日	お茶の水女子大学
塚田 公子 (ツカダ キミコ) マコーリー大学 専任講師	異言語話者による日本語発音習得に関する縦断的比較研究	オーストラリア	【長期】 2016 年 9 月 1 日～ 2017 年 8 月 31 日	早稲田大学
LANGTON Nina Jean (ラングトン ナイナ ジーン) プリティッシュ・コロンビア大学オカナガン校 文学批評学部日本語学科 准教授	オンライン「初歩日本語クラス」で使用する学習オブジェクトに向けたベストプラクティスの調査	カナダ	【短期・前期】 2016 年 9 月 1 日～ 2017 年 2 月 28 日	立命館大学

※一覧は、研究分野別に招聘研究者の姓 50 音順で表記しています。

※「日本文学研究・日本文化研究」の招聘研究者は、次ページ(3ページ)をご覧ください。

◆ 研究分野:日本文学・日本文化研究(7人)

招聘研究者	研究題目	在住国	招聘期間	受入機関
NGUYEN Oanh Thi (グエン オワイン ティ) ベトナム社会科学アカデミー 漢喃研究院 歴史・地理研究室 文学博士/准教授	日本とベトナムの漢文訓読の比較研究 - 「日本霊異記」と「今昔物語集」を中心 に -	ベトナム	【長期】 2016年9月1日～ 2017年8月31日	早稲田大学
NGUYEN Nhu Vu Quynh (グエン ニュー ヴー・クイン) ホーチミン市国家大学人文社会科学大学 日本学部 専任講師	ベトナムにおける日本語文化・文学の 教育および研究の充実を図る授業およ び教材研究	ベトナム	【短期・後期】 2017年3月1日～ 2017年8月31日	立命館大学
KLOBUKOVA Natalia Fyodorovna (クローブコヴァ ナターリア フョードロヴナ) チャイコフスキー・モスクワ音楽院 「世界の音楽文化センター」 助手	日本における正教会の聖歌とその発 生、発展、特徴	ロシア	【長期】 2016年9月1日～ 2017年8月31日	国際日本文化 研究センター
GERLINI Edoardo (ジェルリーニ エドアルド) フィレンツェ大学/ヴェネツィア大学 非常勤講師	文学は無用か「不朽の盛事」か - 平安朝前期に見る「文」の社会的役 割とその世界文学における位相 -	イタリア	【短期・後期】 2017年3月1日～ 2017年8月31日	国際日本文化 研究センター
石 立善 (セキ リツゼン) 上海師範大学 哲学学院 教授	日本所蔵漢籍古抄本に関する総合的 研究	中国	【短期・後期】 2017年3月1日～ 2017年8月31日	京都大学
DZIESINSKI II Michael Joseph (ディシンスキー マイケル ジョセフ) ハワイ大学マノア校 社会学部 非常勤講師	現代日本における見習いからマスター・ クラフツマンへの成長プロセス - グローバル化時代のクリエイティブ産 業における伝統芸能とモノづくり -	アメリカ	【長期】 2016年9月1日～ 2017年8月31日	早稲田大学
ベルランゲ・河野 紀子 (ベルランゲ・コウノ ノリコ) フランス国立リール第三大学 外国語・外国文学・外国文化学部 日本学科 教授/日本学研究科長	幕末・明治初期の「人民の権利」概念 形成における伝統的法政文化と西欧思 想の相互影響課程 - 初代司法卿江藤新平とその周辺 -	フランス	【長期】 2016年9月1日～ 2017年8月31日	早稲田大学

※一覧は、研究分野別に招聘研究者の姓 50 音順で表記しています。

※「日本語研究・日本語教育研究」の招聘研究者は、前ページ(2ページ)をご覧ください。